

Ⅲ

守る

鳥取県の豊かな恵み・生活を守り、次代へつなぐ



砂丘と中海の清掃ボランティア

1 豊かな自然・環境を守り、育て、次代につなげる ～「自然・環境バトンリレープロジェクト」

- 県民、自然保護団体、NPO等と行政との協働に積極的に取り組みながら、自然環境の保全・再生を推進します。
- ノーレジ袋、マイバッグの普及など、県民一人ひとりが省エネ・省資源など環境に配慮しながら日常生活を送る鳥取県型ライフスタイルを確立します。
- ゼロエミッション(工場等における排出物をゼロにすること)の実現を目指し、産業廃棄物の減量化・リサイクルを一層推進します。
- 風力、太陽光などの自然エネルギーや木質バイオマス発電の推進、メタンハイドレートの調査・研究により新エネルギー先進県を目指します。
- 県内の優れた環境研究を県内外・国内外に発信するとともに、優秀な人材を地域の環境活動等に活かします。
- 「とっとり共生の森」による企業と連携した森づくりや「カーボンオフセット」、森林環境保全税を活用した森林の保全・整備を推進し、森林がCO₂吸収源として有効に機能することを目指します。
- 豊かな自然や再生可能エネルギー施設を利用した環境学習環境を確保します。
- 県産材を利用した住宅の普及や電気自動車の利用環境を整備し、環境に優しい暮らし方を普及します。



県内最大のメガソーラー

2 安全に安心して暮らせる「安全・安心の充実」

- HACCPなど食の安全の国際認証の取得を促進するなど、食の安全を確保し、食に対する信頼性の向上を目指します。
- 消費者によるモニター活動により、食品表示の適正化や食の安全を確保します。
- 住宅、公共施設などの建物の耐震化を推進します。
- 消費生活相談窓口を全市町村に設置し、NPOなどの相談窓口を含めた相談機関のネットワークを強化します。
- 犯罪被害者の権利利益の保護を図り、支援を充実します。また、暴力被害者が安心して相談できる体制をつくります。
- 警察・行政、地域住民などが協働し、自主防犯活動の活性化などを図り、犯罪のないまちづくりを推進します。
- 通学路の整備、体験型運転者教育などにより、交通事故の発生を抑制します。
- 危険ドラッグなど地域社会へ深刻な影響をもたらす薬物の乱用を防止します。



消費者によるモニター活動

3 「災害に強い県土」をつくる

- 浸水被害や土石流・がけ崩れの減少を目指し、河川、砂防施設等の整備を推進します。
- 緊急輸送道路の整備などにより、災害に強い県土づくりを進めます。
- 土砂災害警戒情報システムの運用など、災害への迅速な対応を推進します。

4 実践型の防災・危機管理

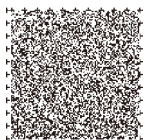
- 一人ひとりが防災・危機管理について正しい知識と技能を身に付け、災害に立ち向かう県民の意識を醸成します。
- 自主防災活動や、災害時の事業所「事業継続」の取組促進、建築物の耐震化の促進、避難支援体制の整備などにより、災害に強い地域社会・地域経済を目指します。
- 新型インフルエンザなど新たな脅威に対する危機管理体制や、消防体制、救命・救急体制を強化します。
- 原子力災害の発生に備え、緊急時の避難対策など体制を充実します。また、大規模災害の発生に備えて他県と連携し、応援体制を整えます。



原子力災害に備えた訓練

これまでの主な成果

- ★「日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例」の制定(H21.4)
- ★自然エネルギーの導入拡大(ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク、木質バイオマス発電等)
- ★レジ袋無料配布中止(東部10事業者)
- ★とっとり共生の森の参画企業数の増加(11社(H20末) → 17社(H25年度))
- ★県有林J-クレジット販売企業数 0社(H21) → 18社(H25年度)
- ★甚大な被害が想定される河川改修の進捗率 49.9 km (H25年度)<目標47.8km(H30年度末)>
- ★河川監視カメラの増設9台(H20) → 43台(H25年度)
- ★災害情報センター設置、災害情報ダイヤル、安心トリピーメール、エリアメール運用
- ★鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例の一部改正(H26.11)



IV

楽しむ

いきいきと楽しみながら
充実した生活を送る



大山でのサイクリング風景としゃんしゃん祭り

1 「価値実感生活」の実現

- 豊かな自然・環境、歴史、食、文化等を知り、楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現・充実に取組めます。
- 本県の「価値実感生活」の魅力を県内外に広く浸透させ、多くのIJUターンにつなげます。
- 歴史、自然・環境、食、文化等の良さ・素晴らしさを県民に伝える方の活動を支援するとともに、そのような活動をする人づくりを推進します。
- IJUターンされたかたが、地域のかたとネットワークを形成し、不安なく住み続けられるような地域社会をつくりまします。



伝統芸能まつり(神楽)

2 芸術・文化を振興することによって、地域の「創造性」を高める

- 芸術・文化が生活の一部となり、県民の創造力を高め、活力あふれる活動が各地で行われるような地域をつくりまします。
- アーティストや文化団体を支援し、芸術・文化活動を活性化します。
- 鳥取県総合芸術文化祭や、廃校等を活用した芸術・文化の発表などにより、県民が芸術・文化を鑑賞する機会を拡充します。
- 地域に根付いて活動を行うアーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進します。
- アートスタート事業などにより、子どもの頃から芸術・文化に触れる機会を拡充します。
- 地域の活性化につながる国内外との文化交流などの取組を進めます。



鳥取藝住祭(人形劇)



高校生による書道パフォーマンス

3 「いつでもどこでも学べる環境」づくりと「スポーツ振興」

- 「生涯学習フェスティバル」、「とっとり県民カレッジ」の実施や、地域公民館活動の支援などを通じて、生涯にわたって学べる場を提供します。
- 図書館を、県民の情報収集、課題解決の支援拠点、豊かな心を育む情報拠点とすることを目指します。また、他の情報提供機関との連携を進め、ネットワークを活用した資料相談(レファレンスサービス)を拡充します。
- 県民が楽しく学び、感動を覚えるような「魅力あふれる県立博物館」づくりを推進します。
- 「鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭」や総合型地域スポーツクラブ(※)の創設、マラソン・ウォーキングなどスポーツイベントへの参加を促し、健康を維持できる人の増加を目指します。
※さまざまな志向・レベルに合わせて参加できる地域運営型のスポーツクラブ
- スポーツ活動を地域が一体となって応援するとともに、地域の支えを受けたクラブ、選手等が活躍するなどにより、地域に対する自信と誇りを高め、地域の活性化にもつなげます。
- ジュニア期から成年期まで継続的な競技力向上を目指し、オリンピックやパラリンピック、国体、全国障害者スポーツ大会などの国際大会や全国大会で活躍できる選手を輩出します。



鳥取砂丘から市街地全域を駆け抜ける
鳥取マラソン大会

これまでの主な成果

- ★アーティストリゾート受入団体 13団体(H24~H26年度)
- ★鳥取県総合芸術文化祭「とりアート」開催(H25 県内3地域、200団体参加、26,000人来場)
- ★県立博物館入館者数 9.2万人(H25年度)<目標7.5万人(H30年度)>
- ★山陰海岸学習館リニューアルオープン(H22)
- ★鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭実施・1万人以上の県民が参加(H25年度)
- ★ガイナレ鳥取のJリーグ加盟(H22)

